



山家 慎間

山家郷塾理念

一、自然の恵みと祖先の恩に感謝し、日々お蔭さまの心を以て郷生の道を歩むこと

一、地域の歴史・文化・伝統を学び考へ今を照らし、故郷の振興と再生を図ること

一、永遠と続く歴史の中にある今を意識し、祖先から受け継いだモノを守り伝えること

故郷へ

家族の不安を押し切り、四月より真田に戻って参りましたが、その選択は間違いではなかったと感じております。

地域の皆様が見えるところまた見えないところでお宮を心配し、支えてくれてありがとうございます。改めましてこの場？紙面でですね、にて御礼申し上げます。

(気にしていただいている方もいらっしゃるので、近況報告を。社務所にいると不思議と人が来てくれます。かみさまは見て下さっているのだと思います。が、かみさんは離れていくかもしれません。)

※注 冗談です。

豊かな自然があつて人が共に生活し地域がまとまつて助け合う、その自然部分への心を表したものが山家神社であります。(地域あつての神社) 神社で何かをしたい(勉強展示・演奏等) また社務所を使用した時はお気軽にご相談下さい。恥書き 押森 慎



夏越しの穢い命延ぶ入は 夏越し大祓

夏越し大祓

七月十二日(土)
午後二時より

神社では祓いや清めというものを大変重視します。入り口付近には必ず手水舎とよばれる場所があり、ここで皆さんは何をされますか？水には日本人に特有の概念があり、洗う、濯ぐではなく、「清める」という意味があります。

地球上に生活する生物にとって水は必要不可欠であり、特にこの真田では四阿山を始めとする深山より流れ出る川を、生命に恩恵をもたらす尊い川、神川として敬われて参りました。ですが時代は進み、現在では日常の水汲みでお祈りする人はいなくなり、蛇口をひねれば水は出てく



大祓人形



るものだと錯覚してしまいます。これも豊かな水をもつ土地の表れなのでしようが、人の世がいくら変わるうが、変らずに恵みをもたらしてくれる山や水を敬う気持ちというものは大切にしていきたいと願います。(脱線中につき戻ります)

祓い清めについてお話しします。泥水というのは濁った汚い水だと思われていますが、決してそうではなく、水の中にはただ泥が混ざっているだけであり、水そのものは何も変わっていません。泥が沈殿すると透明な水が現れてきます。(その泥を薬によつて溶かしてなくそうとすると水は変性する)。神様(自然)ご先祖様より受け継がれた清浄で立派な体は、本来病気に汚れるということではなく、泥である罪穢れ(気枯れ)を祓い除けば、水と同じく再び清らかで健康な状態になる、これが自然と共に生きてきた神道の世界であり、祓いというものです。

年二回(一般的には六月と十二月) 神社では大祓を行い、身も心も清々しく健康で幸福な生活をお祈りします。夏のお祓いは「茅の輪くぐり」があり、季節の変わり目の病気を避けると云われています。ふるってご参加下さい。

人形配布

古式により復活
七月から祭事当日まで神社前にて人形を置いてあります。ご参列できない方は人形に名前を記名の上、穢れ禍をうつして下さい。神事にてお祓い致します。詳しくは社頭にて説明書きを設置します。ご不明な点等ありましたらお問い合わせ下さい。